

戦後70年をどう迎えるか

今年は、日本の敗戦から70年目の年です。

戦争を直接知る世代が減少していく中、集団的自衛権を認める閣議決定により、自衛隊が「積極的平和主義」の名の下に海外で武器を使用するための法制が整えられつつあります。さらに安倍首相は憲法9条の解釈変更だけでなく、改憲を政治日程に乗せることも明言しています。近々発表されるであろう「安倍談話」は、村山談話をいかなる意味で「打破」または「継承」するのが注目されています。

安倍首相の思考の背景にある歴史認識を考えると、靖国神社がかかげる「聖戦思想」を切り離すことはできません。私達は、次の世代にどんな日本を手渡すのかを考えるため、靖国神社を手がかりに、ひとりひとりが「あの戦争への向き合い方」を考える必要があります。

是非ご参加下さい。

◆講師プロフィール◆

内田 雅敏氏

1945年愛知県生まれ。弁護士。

1975年東京弁護士会登録。現在、日弁連憲法委員会委員 など。

弁護士としての通常業務の他に、中国人強制連行・強制労働問題など戦後補償問題、靖国問題などに取り組む。

著書に『靖国神社参拝の何が問題か』(平凡社新書)、『「戦後補償」を考える』(講談社現代新書)など多数

●日時 2015年 5月16日(土)
14時30分～開演

●講師 内田 雅敏氏
(弁護士)

●会場 大阪弁護士会館 920号室



<会場へのアクセス>

- ・地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」
1号出口から徒歩10分
- ・地下鉄・京阪本線「北浜駅」
26号階段から徒歩7分
- ・京阪中之島線「なにわ橋駅」
出口1から徒歩5分

<住所>

〒530-0047
大阪市北区西天満1-12-5
Tel: 06-6364-0251(案内テープ)

入場無料・予約不要

主催 : 自由人権協会大阪・兵庫

http://www.ki.rim.or.jp/~jclu_oh ◆E-mail: jclu_oh@ki.rim.or.jp ◆Tel 06-6364-3051 / Fax 06-6364-3054